



街づくり×商業 リアルメリットを極める方法

松本大地著

働く人・客の笑顔広がるか

使える 読書

百貨店やショッピングセン

ター(SC)など、いまだきの商業施設の課題が同質化にあるといわれる。人気のショップを導入しても、しばらくするとライバルの商業施設に入るようなことはよくある。足を踏み入れるだけでワクワクするような施設はなかなかお目にかかれない。

大型SCの新規出店を止めたり先送りしたりする背景には、建設費などのコスト上昇だけでなく、差別化できない商業施設側の事情もありそうだ。最近、街づくりという言

葉をよく耳にするようになったのも、商業施設内だけで消費者を満足させることが難しくなったからだろう。

著者は国内外を歩き回って数々の商業施設を目にして、実際にいくつもの施設を手掛けたプロフェッショナルだ。主役はテナントではなく、お客。インターネット通販にはない、リアル体験の価値をどう提案するのか。必勝法があるわけではないが、本書で取り上げた事例に共通するのは、働く人もお客も、笑顔が多いことだ。

街づくりの手法を米ポートランドにあると提言してきた著者が今、注目する都市は豪メルボルンという。商業施設は街づくりと一体となって今後、存在感をどう高めていくのか。よそから人を集めるには、まず近くに住む人たちがワクワクしないことには始まらない。

(学芸出版社、2420円)